

# 新たなパーキングエリア等の整備により、**高速道路における休憩施設の空白区間を解消** - 圏央道・坂東PA、北関東道・桜川筑西IC内側駐車場の整備 -

## 事業の目的

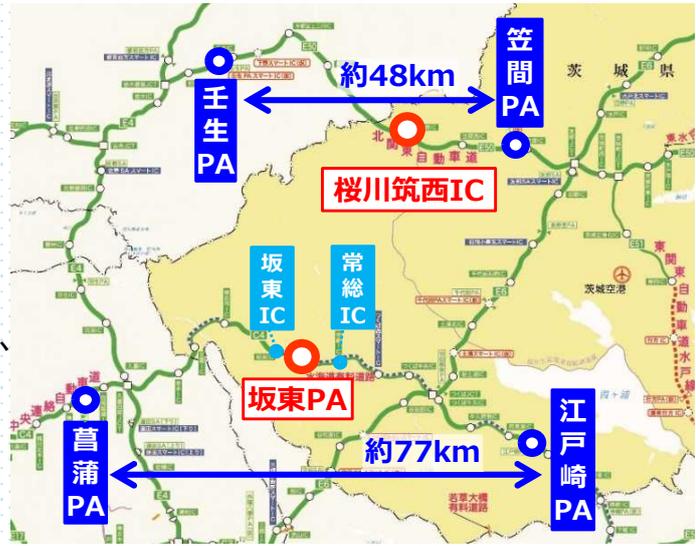
- ◆ 高速道路におけるパーキングエリア等の間の距離が長い「**休憩施設の空白区間**」が存在
- ◆ 休憩施設が少ないと、居眠り運転などの**事故リスクも増大**



利用者の**利便性・安全性向上**を目的に、**休憩施設間の距離が35km以上の箇所を対象に、「休憩施設等空白区間」対策を実施！**

【対策区間】

圏央道 江戸崎PA ⇄ 菖蒲PA 間 約77km  
北関東道 笠間PA ⇄ 壬生PA 間 約48km



## 事業の概要

### 圏央道 坂東IC-常総IC 間に**坂東PAを整備！**

江戸崎PA～菖蒲PAの空白区間が  
**約77km → 約40kmに縮減！**



▲坂東PA (ネクスコ東日本より提供)

- ◆ 坂東市では、坂東PAと都市公園を一体的に整備する**ハイウェイオアシス事業**※を実施

※今後、広場や複合施設 (売店・飲食店等) などを整備予定

⇒**新たな賑わい創出による地域経済の活性化にも期待！**

### 桜川筑西IC内に**駐車場を整備！**

- ◆ IC内に**臨時駐車場**を設置する  
実証実験 (試行運用) を実施

笠間PA～壬生PAの空白区間が  
**約48km → 約32kmに縮減！**



▲桜川筑西IC 臨時駐車場

## 事業の効果

### 新たなPAや臨時駐車場等の整備により、**休憩施設の空白区間を解消！**

ドライバーが休憩できる機会が増え、  
居眠り運転などによる、**事故リスクが低減！！**  
SA・PA利用者が分散され、**混雑が緩和！！**

